< 区の方針 >

学校図書館の活用推進及び環境の充実を図り、児童が読書を通じた探究的な学習を通して、生涯にわたって主体的に学び続けていくための資質・能力を育成することを旨とする。

学校教育目標

- 考える子(確かな学力)
- 思いやりのある子(豊かな心)
- 元気な子(健やかな体)

< 実態 >学校図書館では、2冊貸し出し、朝読書の時間に取り組んでいる。調べ学習で、複数の本で調べて伝え合う姿がある。図書委員会が休み時間に貸し出しを行っている。また、図書ボランティアによる読み聞かせや図書整備等も行っている。

学校図書館の目標

- 学校司書配置に伴い整備されてきた図書館環境を生かし、図書ボランティア、小岩図書館等との連携を深め、学校図書館の環境の充実、利用の一層の促進を進める。
- 図書ボランティアの方々による読み聞かせや小岩図書館との連携を通して、知的好奇心や創造力などを育み、本に親しむ子供を育成する。
- 今までの校内研究を生かし、「調べる学習」について、地域図書館等と連携しながら、さらに推進し、自ら調べ、考え、表現する子供を育成する。

ねらい

- ① すべての児童がより一層本に親しみ、豊かな心情と幅広い知識を身に付ける。
- ② 学校図書館を活用した「調べる学習」のスキルを高め、各教科における図書館活用を推進する。
- ③ 図書館を活用した探究的な学習について、多様な資料から目的に応じた情報を選べるよう、自ら調べ、考え、表現できる情報活用能力を育てる。

指導の重点

- ① 図書ボランティア、司書教諭、担任が連携し、教育活動全体を通して、計画的な読書活動と学校図書館の活用を推進する。司書教諭等に指導・助言していただき図書館環境を充実させる。
- ② 学校図書館を活用した教科等の学習を充実させる。問題解決学習の中で、読書を通じた探求的な学習を生かしていく。

各学年の重点目標

1年…本を楽しむ。・図書館に親しむ。	4年…進んで本をたくさん読む。・調べたいことを図書館で意欲的に調べる。
2年…進んで本を読む。・図書館を正しく使う。	5年…知識と心情を豊かにする。・目的に応じて図書館を適切に活用する。
3年…様々な本を読む。・図書館で調べる。	6年…本を選んで読む。・学び方を身に付け、課題解決をする。

具体的な取り組み

【各教科】

○図書館の司書等と連携し、課題解決学習、調べる学習、グループ学習や個別指導の場とする。情報活用能力を育成する。読書指導を行い、読書習慣、態度を養う。

【読書科】

○「読み聞かせ」等で読書への意欲を高める。
○図書館資料を活用した「調べる学習」を行い、整理・分析し、表現する力を養う。

【総合的な学習】

○自ら課題をもち、調べ考え、表現し交流し再考する活動を進める。探究的な学習を行う場として学校図書館を利用し図書を活用する。

【特別活動】

○図書委員会を中心として、自発的・自立的に学校図書館活用のための仕事を行う。更にご利用や工夫を考え、読書活動推進を行う。

【特別の教科 道徳】

○図書資料を通して、様々な生き方や考え方に接し共感する中で、自己を見つめ、道徳的心情を育む。

【家庭・地域との連携】

○月1回の図書ボランティアによる読み聞かせを行う。
○図書ボランティア、公立図書館と連携する。

朝読、中休み・昼休み読書の推進

推進組織の検討・充実

図書館との連携

学校図書館環境の整備・充実